

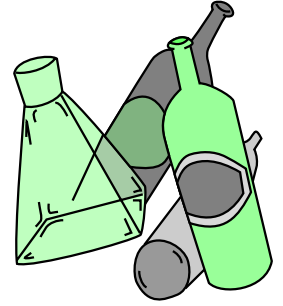
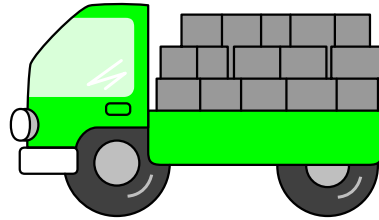
狛江市における品目ごとの処理

- リサイクルセンター維持
- リサイクルセンター事業

民間業者

中間処理したものをリサイクル工場へ搬入

狛江市ビン・缶リ



問屋へ搬入

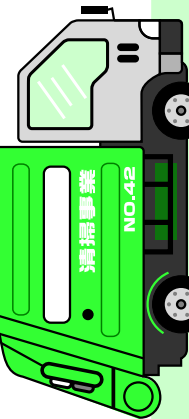
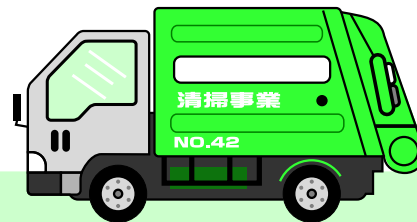
資源物売払収入

■ビン・缶売払代金	13,735 千円
■金属売払代金	788 千円
■ペットボトル売払代金	4,018 千円
■古紙売払代金	30,431 千円



●古紙・古布資源回収委託

90,675 千円



狛江

■売払代金合計 48,972 千円

●委託料等経費合計 1,302,988 千円

※この他集団回収事業促進費及び奨励金や、ごみ・リサイクルカレンダー作成費等約1億円の予算が執行されています。

ごみの種類ごとに処理の流れに即して、平成20年度にかかった費用を簡単な図にまとめました。このように、ごみの収集運搬及び処理には莫大な費用を要します。平成20年度の実績では、年間一人当たり約一万八千円、また一世帯当たり約三万七千円のごみ処理費用を負担していることとなります。総額では約十四億円強・・・莫大な金額になります。

平成17年10月の指定収集袋有料化以降、ごみの排出量を減量することができていますが、毎年行っているごみの組成分析(サンプリング調査)の結果を見ると、分別が徹底されたことによる減量効果が大きいことが伺えます。しかし、ごみの分別にも限界があるため、別の方法でごみの減量を実現しなければいけない状況に直面しています。

ごみの収集運搬及び処理費用は、重量(kg)当たりの単価)により算定されます。重ければ費用は高く、軽ければ安くなります。

しかし、今の時代普通に生活するだけで大量のごみが排出されます・・・では、どのようにして重量を軽く、また排出量を少なくできるのでしょうか。次のページで紹介いたします。